

青森県生協連 たすけあいの会：コーディネーター研修会開催報告

1. 日時：2023年9月14日（木）10時30分～14時
2. 場所：コープあおもり本部集会室
3. 参加者：コーディネーター21名、幹事1名、県生協連3名、合計25名
4. 研修概要

たすけあいの会は、年に1回コーディネーター研修会を開催しています。今年は、新人コーディネーターの育成に向け、寸劇でコーディネートの場面を再現し、グループワークで「コーディネートで大切にしたい5つのこと」をまとめるという課題に挑戦しました。

開会の挨拶は、今年7月にたすけあいの会会長に就任された今 淳一県生協連副会長から、「25周年を迎えたたすけあいの会の活動をこれまで守り育ててくれたことに感謝します。益々地域の支えあいが必要とされている今、たすけあいの活動をさらに広げていきましょう。」と激励されました。

次に、鎌田本部事務局よりコーディネーターアンケートの集計結果について報告がありました。コーディネーターの養成がすこしずつ前進していること、活動のエネルギーは何とんでも利用者さんの「ありがとう」の言葉、40代50代の活動参加など、今後に期待のもてる報告でした。

続いて、模擬コーディネートです。最初の事例は弘前地域チームによる「仙台に住む長女からの依頼による母が住む家の掃除依頼の件」について、2例目は下北地域チームによる「担当ケアマネジャーからの通院付添の依頼の件」についてのコーディネートの場面を演じました。どちらもコーディネーター役も利用会員役も演技力バツグンで、主演女優賞の声がかかるほどの臨場感いっぱいの演技でした。コーディネートでは、利用者さんがたすけあいの会に加入することに納得しているか、支援内容の具体的な確認などが重要です。特に家族からの依頼のケースでは、利用者さんがいないという場合も多々あります。通院付添では、歩行やトイレなどが自立しているか、診察場面に同席した方がいいのかなど、どんな援助を望むのか事前確認が必要です。立ち入ったことを伺うので、どのように言葉をかけたらいいか、悩むところです。この後、グループ討議で意見を出し合い、喜ばれたこと、失敗談や苦労したことなどを交流し、「コーディネートで大切にしたい5つのこと」を発表しあいました。

最後に、鎌田本部事務局より、「私たちの活動は孤立・孤独を防ぎ、意欲的に生きることを支援する活動です。利用会員さんの『ありがとう』を心の糧にして、一層活動を広げていきましょう。」とまとめがありました。

<参加者の感想>

- ・A会員への話しかけ方、内容の伝え方など自分との活動の比較ができ勉強になりました。
- ・自分に足りないところが模擬を通して気づかされた。ケアマネジャーと一緒に訪問することが多くなってきたので助かっている。心強いと感じています。
- ・大変良かったです。ベテランの方からいろいろ話が聞けてコーディネートの再確認ができました。
- ・楽しかったです。他の地域の話も聞いてとても参考になりました。

